

K/H システム 英語基盤力強化 自学プログラム

Deliberate Practice

Course Description

プログラム 詳細

K/H英語学習法で学んだ上級者が
実戦的な <英語の基盤力> と <質の高い自学力> を
確実に養成するための
4カ月間 自学習プログラム

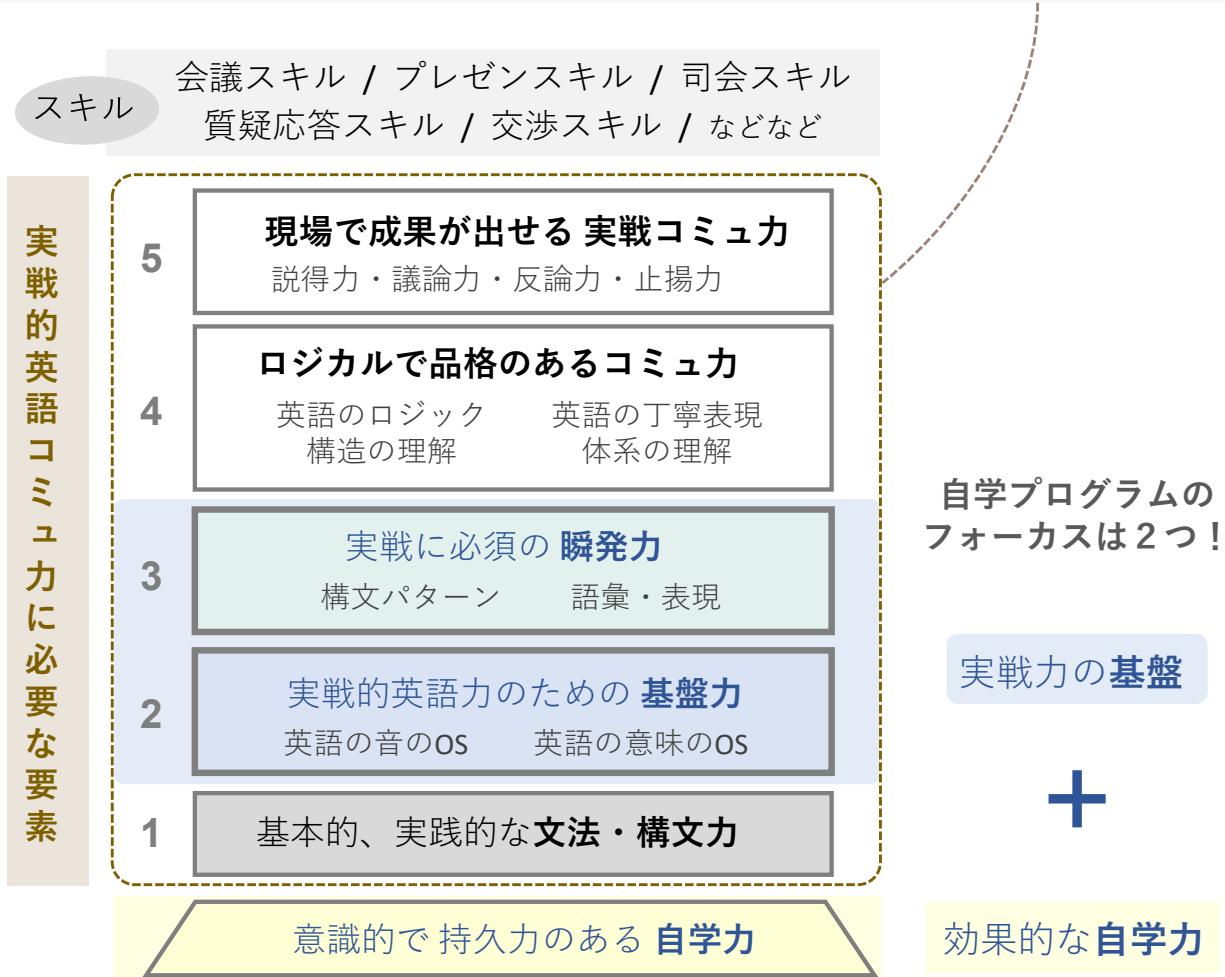
2024春季 プログラム資料 目次

■ プログラムの位置づけとフォーカス	1
■ プログラム・デザインの特徴	2
<英語基盤力> のための工夫／<自学力> のための工夫	
■ プログラムの内容と教材	4
学習の進め方／教材／1ヶ月の学習のイメージ	
■ 具体的に見てみよう	7
学習用動画／講師のサポートやフィードバック	
■ 受講者の声	13
■ スケジュール・受講料・申込方法	14

K/Hシステム 英語学習法の全体像 と このプログラムのフォーカス

K/Hシステム英語学習法は

- ✓ 全ての **スキル** の質を下支えする **本質的で汎用性のある力** にフォーカス
- ✓ **日本人にとって「必要かつ難しい」もの** を特に洗い出して フォーカス



このプログラムの フォーカス

- ✓ まず何よりも、**実戦力につながる 英語力そのものの基盤**

本格的な実戦力に必須の **2つの力** にフォーカス。この土台が強固であればあるほど、プロとしてビジネスで結果を出す上で重要な **4, 5** を効率的・効果的に載せられます。

- 2 **基盤力** 英語の言語としての仕組みに慣れて、**文頭から正確に聞き取る力**
- 3 **瞬発力** スピーチングや聞き取りの瞬発力を上げるための**構文パターン**

加えて、誤解のない意思疎通には必須なのに、このレベルの学習者に課題として残りがちな、**時制や助動詞のニュアンス** の感覚も磨いていきます。

- ✓ **新しい力/感覚の効率的習得に必須の 効果的な自学力**

1 から 5 まで積み上げて本格的な実戦力をつけるための、<自学力>の習得にもフォーカス。息の長いプロセスを、**効果的に、かつ、自立的に** 学習していく視点と習慣を作ります。

確実に感覚を変える！ためにこんな学習



変化と手応えを十分出せる 4 カ月の学習期間

- 事前課題を提出 + 1 カ月 1 サイクルの学習を 4 回まわすデザイン
- <基盤力>も、<自学力>も、**変化と手ごたえを十分感じられる期間の長さ**



動画をガイドに学習を進めるデザイン

スマホさえあれば、
クラス並みのコンテンツをいつでも、どこでも、何度でも見られる

- 講師と共に学ぶ学習解説動画は**計 18 時間**
それを指針に、隙間時間も活用して**自分の好きな時に学習**
- 対面クラス同等の充実したコンテンツ
繰り返し視聴できるから、吸收度・定着度アップ



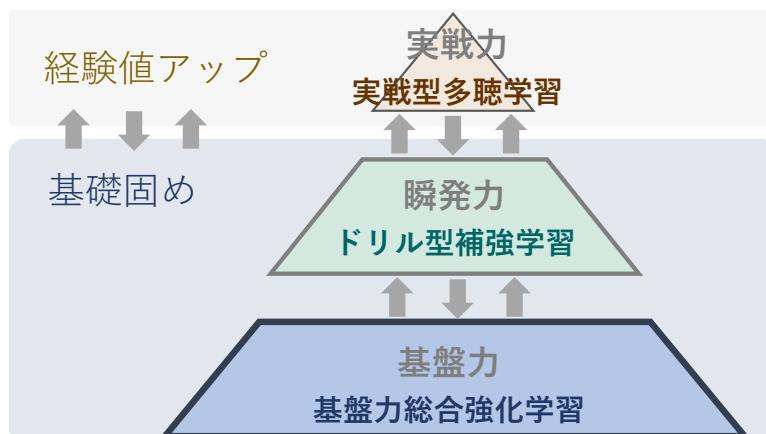
自分ではやりにくい「感覚を変える学習」をサポート

- つけたい力にしっかりと意識をして感覚にすりこめる ために、
解説、学習ステップ、練習ツール、練習用音源などを**多角的に工夫**
- 目指すべき仕上がりの感覚と、そのためのやり方が明確に分かることで、
迷いや不安なく、「感覚を変える“すり込み練習”」をやりこめる



3 タイプの学習の相乗効果で、効率・効果の高い学習

- 基盤力総合強化学習、ドリル型補強学習、実戦型多聴学習
3 タイプの学習を毎サイクルかみ合わせた、高い相乗効果を生むデザイン
- <実戦型多聴学習>を並走させて、“訓練”したことを“応用”して経験値アップ
実戦意識の強い「基礎固め」が可能に

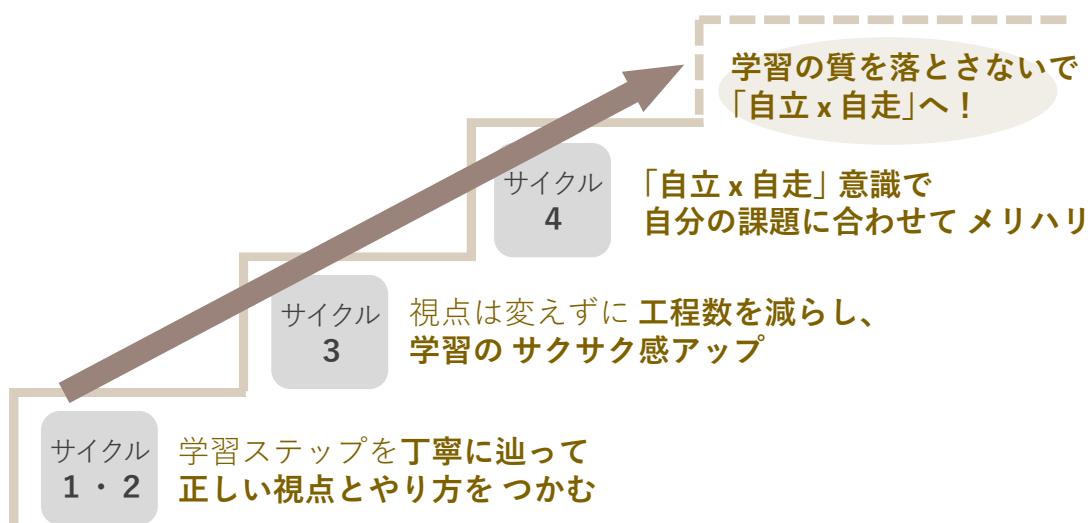


自立×自走できる自学力！のために こんな学習



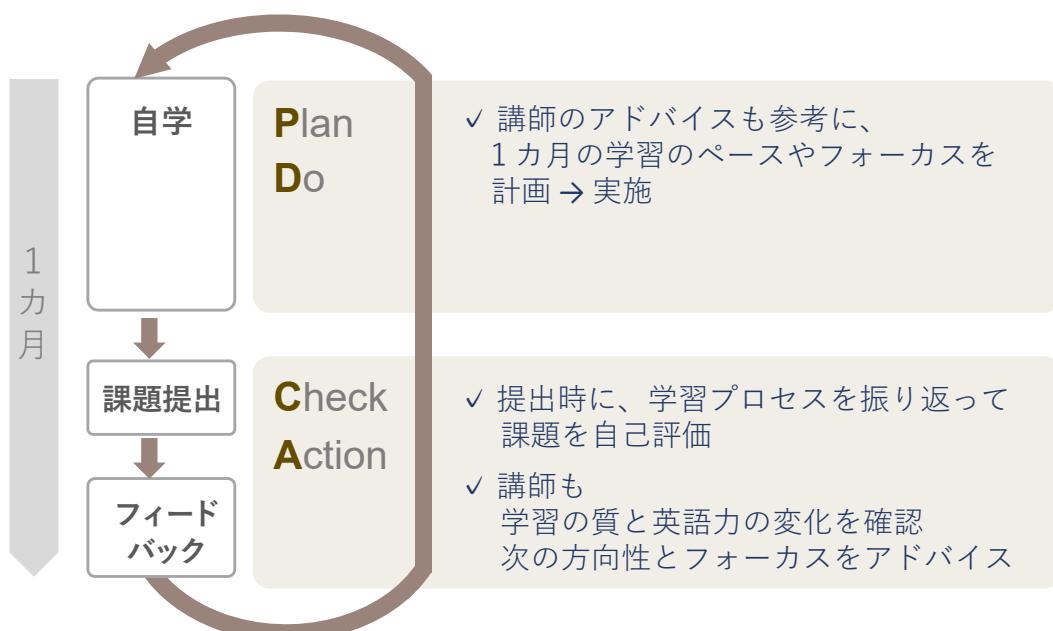
「自立×自走」できる自学力と学習習慣がつく！

- ガイドや解説が減っていく **発展的なデザイン**で、
安心感と手ごたえを感じながら「自立×自走」にテイクオフ
- 大事な視点は落とさないで自学できる力をつけるデザインで、
プログラム後も、**学習の質を落とさないで学習を継続**



「自立×自走」までの道のりを迷わせない！

- 英語力の<基盤>と<自学力>の学習進捗を、**プロの目**で確認！
講師による、**個々の進捗と課題に合わせたフィードバック**を定期的に挟むことで効率的に「自立×自走」に向けてステップアップ
- 自分の現状と目指す仕上がりスタンダードのギャップを意識させる構成**と
フィードバックによって、**PDCAの視点**を持って学習

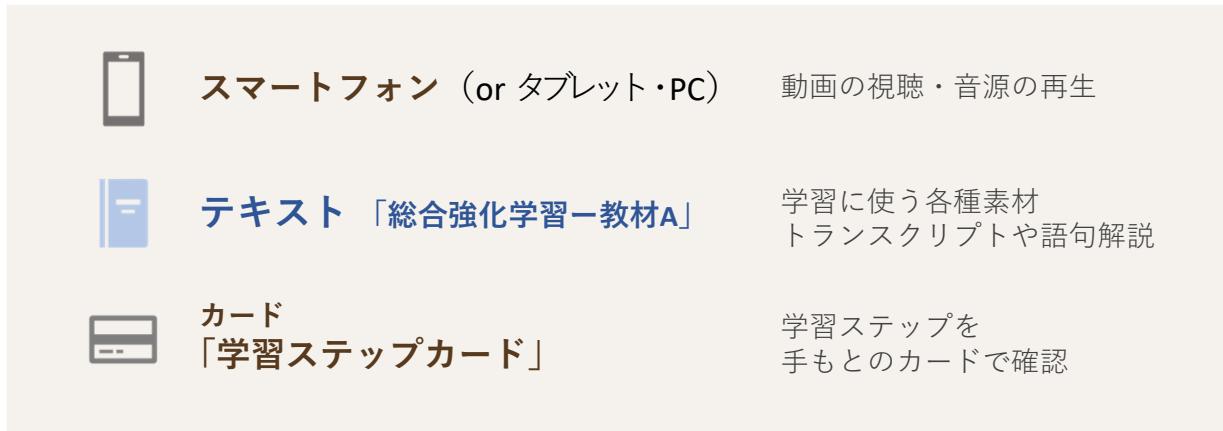


手軽に取り組める 学習の進め方



これだけあれば、OK！

✓ この3つがあれば、いつでも、どこでも 学習できる！



基本の流れは、これ！

✓ 動画 → 自学 の2ステップを繰り返して学習



✓ <学習サイト>の動画を軸に 学習

<学習サイト>の動画を順番に見ていけば OK！

英語基盤力強化 自学コース
Deliberate Practice

- Welcome to K/H System Guided Self-Study Program!

▶アイコンの説明
...動画だけ見ればOK ...机上作業あり
...仕事あり

[事前ガイダンス]
[全体ガイダンス] ▶動画の長さ：30分 □ 必須教材：冊子「主体ガイド」(体の大きさ)流れと目的を確認する動画、プログラムの流れを確認する動画。
[事前課題] 1. やり方と資源

A-1 意味の仕込み 2

A-2 意味の体得

BONUS 練習用動画

[A-1] 学習解説：意味の仕込み（2）
▶動画の長さ：50分 ([自分で作業]あり) ■ 使う教材：教材A聞き取り立体トランスクリプト(p.7)/作業用ストレート英文(p.6) ⇒ ダウンロード：[A-1-pdf1_聞きき...]

[A-2] 学習解説：意味の体得
▶動画の長さ：20分 □ 参照： 学習ステップカード ⇒ ダウンロード：音源[A-1-1_教材A シャドーイング用] ⇒ ダウンロード：[A-1-pdf2_作業用ストレート英文](PDF...)

[A-2 ボーナス] 練習用動画：意味の体得
▶動画の長さ：5分 ■ 「意味の体得」の「補助輪」として用意した動画です。基本的に、「意味の体得」は、音を聞きながら、OSの感覚の強化につながる視点で「テーマ別リスニング」をやりこむ...

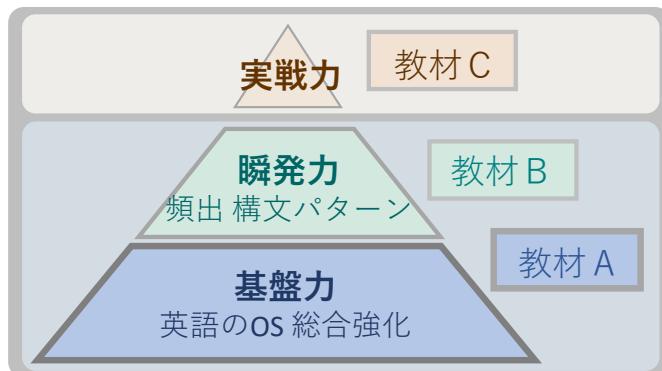
【音】の仕込み／体得

A-3 音の仕込み／体得

[A-3] 学習解説：音の仕込み～体得
▶動画の長さ：30分 ([自分で作業]あり) ■ 使う教材：教材A-作業用ストレート英文(p.6) ⇒ ダウンロード：音源[A-1-1_教材A シャドーイング用] ⇒ ダウンロード...

相乗効果をねらった教材の構成

- ✓ 3タイプの学習・3種の教材で相乗効果を確保して、力を強化！



教材 A モノローグ型教材

<基盤力>を総合的に強化する主軸教材。モノローグ素材を徹底的に身につける中で、<基盤力>と<自学力>を総合的に強化。どの教材も**仕事に生きるテーマ**で、使われているパターン構文、語彙表現もビジネスに**必須**のものばかり。

教材 C 多聴用教材

教材 A・Bにかみ合った巷の実戦的な素材を多聴し、相乗効果をねらう。
学んだことを応用して、実戦的聞き取りの経験値をアップ。多聴を並走させることで、実戦の厳しさ、切迫感を常にイメージしながら学習できる効果もある。

教材 B ドリル型教材

頻出するのに、私たちが苦手な**構文パターン**を**集中特訓**する教材。教材 Aで頻出するパターンを学ぶことで、相乗効果も確保。そのままビジネスで使える英文、語彙表現が満載。時制・仮定法・助動詞など<ニュアンスの基本>もここで学ぶ。

仕事に生きる教材のテーマ

- ✓ テーマも、英文や語彙表現も、**仕事で生きるものばかり**
- ✓ サイクルを進むごとに、**難易度とテーマがステップアップ**してより実戦的に

教材 A 総合強化教材	教材 B ドリル型補強教材	教材 C 多聴素材
サイクル 1	トピック 自分を売る 自分のキャリアと 経歴を語る	学習する構文パターン 「船フック」のパターン 頭でっかちの「船フック」の パターン 時制・仮定法のニュアンスと感覚
サイクル 2	自分を売る 自分の組織について 語る	「結+詳」のパターン 頭でっかちの「結+詳」の パターン 助動詞のニュアンスと感覚
サイクル 3	異文化に入る 日本人駐在員への アドバイス	「後ろでっかち」のパターン 「疑問詞節」のパターン
サイクル 4	異文化に入る 日米ビジネス文化の 違い	「割り込み」のパターン

1ヶ月の学習のイメージ

学習時間の目安：月 15～20 時間 程度 (週 3～5 時間)

駅まで歩く時間で、始業前の30分で、週末にカフェで…
「いつ、どこで、何をやるか」の視点で自分に合った学習リズムを作り、
1日20分30分でもよいので継続的に時間を取りするのが感覚を変える秘訣です。

細切れ時間を上手に活用！

「毎日少しずつ」を継続

1ヶ月の学習スケジュール例		
WK 1	日	動画 1：意味の仕込み
		自宅やカフェで
		仕込み：構文分析・語句解説 音読意味取り練習
		60分動画 計 4時間
WK 2	日	動画 2：意味の体得 動画 3：音の学習
		電車の中で 自宅や職場で
		テーマ別リスニング 100%シャドーイング
		20分動画 40分動画 30分 / 日 30分 / 日
WK 3	日	動画 4：音と意味の一体化の学習
		電車の中で 自宅や職場で
		テーマ別リスニング 100% / 一体化シャドーイング
		10分動画 30分 / 日 30分 / 日
WK 4	自宅や職場で	一体化 シャドーイング
	電車の中で	テーマ別リスニング
	提出	動画 5：課題提出に向けて
		30分 / 日 30分 / 日 30分作業

提出する課題はこの3つ

- 1 シャドーイング
[メイン教材 約2分]
- 2 自己評価とコメント
(1に対する自己評価)
- 3 学習ログ

講師は、この3点を丁寧に見て

- ✓ 英語力 (基盤力が身についてきたか)
 - ✓ 自学力 (効果的な学習ができるか)
- この2つの視点から
メールで個別アドバイス



具体的に見てみよう

どんな動画で学習できるの？

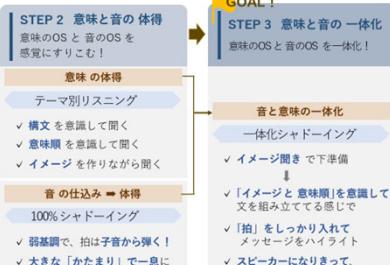
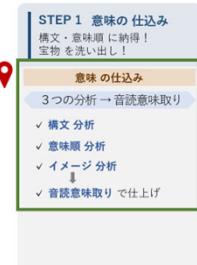
✓ 全体像と目的、次の行き先が見えて、迷わない！

どの動画でも、学習の **大目的** と **全体地図** を必ず確認

次のステップへのガイドで、迷いなく学習が進められる

どこにいる - 学習地図

教材A 学習ステップ



練習ツール ↗ 具体的な作業やテキスト

何を学ぶ

意味のOSとは

意味の学習

意味の特徴

構造的特徴 = 「船一フック一フック」



意味的特徴 = 「結論→詳細→詳細」



英語のOS (英語の感覚) を自分の中に作り込もう！

OSが逆順！

このOSの違いやうえに、英語を聞く・話すが難しい！

何のために

意味のOSを身につけよう

意味の学習



英語の意味の特徴（意味のOS）を身に付ける利点

1. リスニングで、後戻りせず、文頭から聞き取れる
英語の順で、正確にリアルタイムに意味を理解できる！
2. スピーキングで、文が作りやすくなる
英語らしい文のつくりでアウトプットできる！
3. 長い文でも、楽に覚えられるようになる
文全体のつくりが見抜けて、インプットしやすくなる！

どうやって

「意味の学習」のねらい

意味の仕込み

「意味の学習」全体の…

◎ 大目的 後戻りせずに、文頭から、しっかりと頭に残るかたちで聞ける！を目指す
★ メリット 「スピード」と「正確性」を両立して聞く力がつく

◎ 「意味の仕込み」のねらい

文の構造と意味、そして意味の出てくる順序に納得！

HOW

1. 「構文・意味順・イメージ」3つの分析で戦略づくり！
2. 「音読意味取り練習」で聞き取りシミュレーション！

こみ！

学習の大目的と全体地図を自分で持って、迷いなく、飛ばしや漏れなく学習が進められる

次はどこへ

教材A 次の進み方



Next! この動画の後は…

意味の仕込み

まずは、

この動画で学んだステップで

筆記 意味の仕込みを全文しっかりと仕上げる

その後、

➡ [A-2] 学習解説 - 意味の体得 の動画を見て
耳 テーマ別リスニングをしっかりとやり込む

ガイドで
迷うことなく
次の動画・次の作業へ



具体的に見てみよう

どんな動画で学習できるの？

✓ 正しい学習法を講師と一緒にシミュレーション！

- 学習の質を決める<仕込み>を講師と体験！やり方とスタンダードをセット
- その後は、自分でやって、安心感を持って習慣作り



The video player interface shows a transcript of a conversation in English with Japanese subtitles. The transcript includes:

After graduating from college
with a degree in Economics,
I joined a consumer products company
as a junior member in sales,
なにしてた? working on various sales campaigns
and promotions.

Below the video player, three callout boxes provide additional context:

- 仕込みの具体的なイメージを実況中継型で講師と体験** (Experience specific infiltration images with the teacher in a live broadcast style)
- 感覚にすり込む作業も一緒にやって習慣づけ** (Incorporate sensory-based tasks and practice them together to form habits)
- 仕上げで聞いてみましょう！** (Listen to the finishing touch!)

仕込みの具体的なイメージを
実況中継型で
講師と体験

感覚にすり込む作業も
一緒にやって
習慣づけ



具体的に見てみよう

どんな動画で学習できるの？

✓ 自分ではやりにくい「すり込み練習」をサポート！

- 学習ステップと確実に感覚を変えるコツを必ずセットで実践
- 「耳から」だけでなく「視覚」も使って、実戦的な聞き方を体得

© KIH System

意味の体得 学習ステップ

テーマ別リスニング練習

聞くときのテーマ例	確実に感覚を変えるためのコツ
細切れ時間を毎日 or 1日おきに	目も、耳も、体も… 五感を総动员！
■ 構文を追いながら聞く	✓ 手で構文を「立体的」に描く
■ 意味順に納得しながら聞く	✓ 語句動詞に注目して結論を意識！
■ イメージを作りながら聞く	✓ 意味の「かたまり」とそのつながりを意識して「別車聞き」 ✓ 自分の言葉で理解を口に出してみる ✓ 手でイメージ化を手伝う

意識的な練習にするコツで「漫然と聞くだけ」を防ぐ

We are proud of the way we treat our customers.

We try to develop a long-term, mutually beneficial relationship with each customer

…ってどんな関係？ where we can grow with the customer.

誇りに思ってますよ お客様との関係の築き方を

具体的には、常に目指してます。

長期的で互いにプラスになるお客様との関係づくりを

しかも、共に成長していくような

意味処理の構造とタイミングを「立体的」「動的」に感覚にすり込み！

© KIH System

教材 p. 25

まずはプラス面を言ってあげて…

日本の人の営業のやり方は基本的に問題ないよ
好みやいてて終わらへん。
話すとみんな、好感を持つ

その上で問題の售却

Sometimes...
…だと、还要考慮に…
…具体的に答えてみるとあるみたい

そして最後方にアドバイス

And one of the things that I encourage the Japanese to do, plus is...
…、プラスは、仕事をしながら、地域社会の活動に参加するといふよ

具体例でイメージあげて

whether that's...
whether that's...
whether that's...

例えば、こんな事とか、こんな事とか、こんな事とか

II

命令形で 言は、地域に関わって、仕事を超えた販を作ろってこと

それからまた、…
…されがちなんじめて、…

何かしら言葉にしてあげる

「話の流れ」も意識する発展的な視点でメッセージに腹落ち！



具体的に見てみよう

どんな動画で学習できるの？

✓ 効率よく、確実に、感覚を変える！

- 感覚を変えるのに必須の練習は、**自分でもできるコツ**に！
- 音の負荷が高めの人は、「**お助け音源**」で学習効率アップ
- 「音とリズムのため」を超えて、**実戦力**をつけるための発展的視点も

© KIH System
補助練 部分練習のコツ
コツ1 まず全部「弱」で、次に「強」を軽く弾く！
with a degree in Economics, ...
...with a de gree in Eco nOmics ...

効率よく感覚を変えられる
練習のコツを習得！

© KIH System
補助練 部分練習のコツ
コツ2 後ろから仕上げて、徐々に前足し
with a degree in Economics, ...
...with a de gree in Eco nOmics ...

[A-3] 音の仕込み～体得

【音】の仕込み／体得

- ➡ ダウンロード：音源 [A-3-1_教材A シャドーイング用]
- ➡ ダウンロード：音源 [A-3-HELP1_教材A ポーズ入]
- ➡ ダウンロード：音源 [A-3-HELP2_教材A 少しゆっくり+ポーズ入]

スピードとポーズを調整した
「**お助け音源**」で
不要な負荷を減らして練習

© KIH System
部分練習のコツ
苦手なところは かたまり で抜き出して 練習しよう！
練習のコツ
コツ1 まず全部「弱」で、次にポンッと弾く
コツ2 後ろから仕上げて、徐々に前足し

ここに注目！
▼ フック周り系
▼ 「数」を伝える系
▼ 「旗じるし」系
▼ 「構文」系 など

テーマ別で練習

「リズムがつかめた」を超えて
実戦で「聞き取れる・使える」に

© KIH System
音の学習
大きめのかたまりで慣れておこう！
コツ1 まず全部「弱」で、次にポンッと弾く
コツ2 後ろから仕上げて、徐々に前足し

● one of the first things the headhunter said
● in a way that you want them to be
● we came here knowing it would be different

最後は実戦につながる力に



具体的に見てみよう

どんな動画で学習できるの？

✓ <一体化>で実戦力になるまで仕上げる！

■ 学習ステップと確実に感覚を変えるコツを必ずセットで実践

■ 「仕上がりの目安と数値での自己評価」で仕上がりのスタンダードをセット

© K/H System

音と意味の一体化 学習ステップ

テーマ別一体化練習

意識的な練習にするコツで
「漫然とシャドーイングする」
を防ぐ

一体化シャドーイングのテーマ

- 1 「イメージと意味順」を意識して文を組み立てて感じる
- 2 「拍」をしっかり入れてメッセージをハイライト
- 3 スピーカーになりきってメッセージを伝えるつもりで

確実に感覚を変えるためのコツ

- ✓ 「イメージのかたまり」を足して自分で文を作っていく！
- ✓ [強] のところで弾いてそこにメッセージを乗せる！
- ✓ 目の前の相手に自分が伝えている意識で！
- ✓ 視線・表情・自然な動きも意識

© K/H System



「一体化」仕上がりの目安

一体化の学習

仕上がりのスタンダードをつかみ、やり込み不足を防ぐ

✓ 「質」をチェック！

- ✓ 「かたまり」で文を作ってる感覺で
- ✓ メッセージとリンクしたリズムのメリハリがあり
- ✓ 自分が伝えている感覺で

生き生きとシャドーイングできる！

✓ 「定着度」をチェック！

- 数日空けても…
- ✓ 意味があやふやにならず
- ✓ 英語的なリズムが崩れず

© K/H System

提出 <自己評価表>

1 シャドーイングと学習プロセスを自己評価する

結果 シャドーイングの仕上がりを評価

4つの評価項目の4段階評価を入力

- a. リズム感
- b. かたまりの一息感
- c. 自分で文を組み立てている感覚
- d. 自分が伝えている感覚

- 4 … 楽にムラなくできる！仕上がった！
 3 … 少し負荷が残るが、もう少しで仕上がる
 2 … まだやり込みが必要
 1 … 練習し始めたところ

4.【結果の評価】提出課題(シャドーイング)の自己評価

■提出目標：4. 負荷なくて仕上がり／3. 少し負荷があるが、もう少し仕上がり／2...まだやり込みが必要／1

■提出されたところ

a. リズム感	<input checked="" type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 3
b. かたまりの一息感	<input checked="" type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 3
c. 文を組み立てている感覚	<input type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4
d. 自分が伝えている感覚	<input type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4



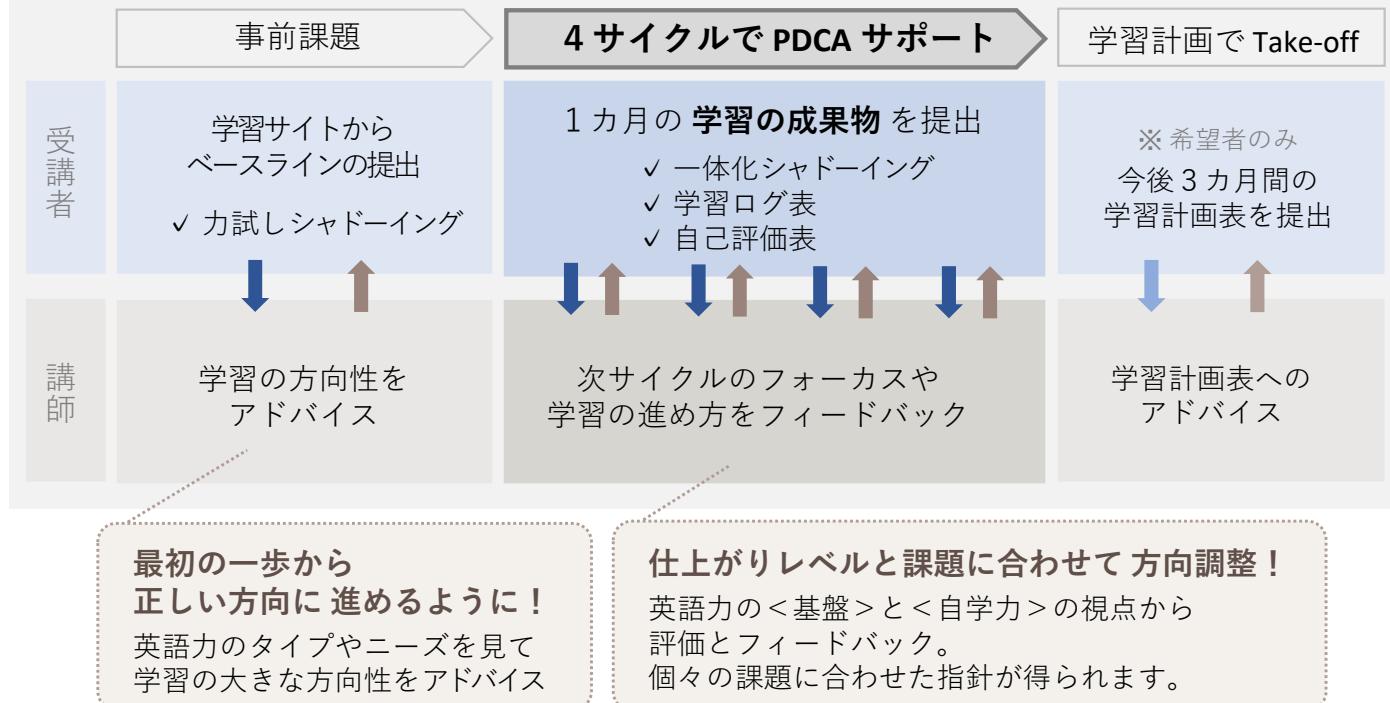
音



具体的に見てみよう

どんなガイドがあるの？

効率よくステップアップしていくための講師による方向調整



事前課題へのアドバイス例

をのぞき見
見てください。

■ よかった点
事前の階段で、ネイティブのスピードで、英語的な抑揚をとらえてシャーイングできるだけの英語の「音の慣れ」と語彙表現の基本ストックがあるようですね。また、音・リズムについても、語尾が重くなるなどの不要な力みが少ないと強みです。英語の音・リズムの感覚をつかむのは早いのではないかという印象を持ちました。

■ 学習のフォーカス
定型句中の慣れを増やそう

ミスの傾向として、**「速いスピードで言われる語彙や定型句で特に単語が抜けてしまう」**その原因として、(A) 読賣、表現そのものを知らない、または(B) その表現に音として覚えてない、これが考えられます。(A)に該当する表現は、**「意味の仕込みで、『Y 話題』をよく説いて、表現の使いこなしがYアシスタンスまで理解することを特に意識する、その上で、(A) (B)とも、『YかたまりでYリズム』を、表現に身につける意識も持って、『シャドーディング』や『テーマペリスニング』を、しましょう。**

意味のまとめを特に意識しよう

意味のまま語が薄く、ツンツンと単語単語で切れた感じになっています。リスニングで、大きな「またり」で意味を処理する感覺が身につきにくかったり、スピーキングでは、聞き手の間取りの負荷が上って、伝わりにくくなってしまう。『意味の学習』では、単語単語ではなく、意味の「かたり」単位で英語をとらえることを特に意識し、『音の学習』では、特に【弱】が目立つところに注目してよく聞いて、どんな音になって、どんなふうに音がつながっているのかなどを耳で分析すること✓「かたり」は一息でめらかにアバウトすること特に意識しましょう。

各サイクルの 講師フィードバック 目次

■ 美容全体へのヨミト

サイクル2の提出、ありがとうございました。今回もたくさん時間をお、コストアントに割いて学習者用に作成してくださったようですね、「時制」や「動詞形」の動画を再視聴するなど、「教材B」の学習にも多くの時間を使いたい限り、教材Aの部分練習により多くの時間を割いたりと、二つで課題に合わせて時間の使い方を工夫されているようですね。これまでの二つのレッスンの流れが出来てしまふ感じがします。

自己評価	37	3	3	3	3	2	7
学習時間			リズムの発展	かたまりの一息態	文を作ってる感覚	表情の豊かさ	ミス個数
運び	○	△	△	△	△	△	○

二輪に上むつた者

全体的に英語的な口不思改論

強弱の音感の感覚、リズム感、かたり感、大きく改善。HELP版の音源の活用が非常にプラスになっている印象です。全体的に余裕を持って、英語らしいリズム感とかたまり感でできるようになっていて、まだそれができない部分が一部残る。というふうに大丈夫なところと苦手部分がクリアに分かれてきた感じで、これは大きな前進です。実戦では聞き取りと違い、アウトプットはある程度自分のスピードで行けるので、引き続き、「聞き取り」と「アウトプット(シャドーイング)」で訓練の練習を分けて、リズム感覚を確実に身につけてもらいたいです。

□二のサイクルの仕上がり

この教材は、一旦卒業です。苦手部分が一部残って、総評としては上のような評価ですが、苦手部分の課題も、これから2サイクルの練習で改善されていくと思う

で、次のサイクルの教材に進んでください。

■ 次のサイクルの方向性と調整点

学習のベースづくりや苦悩は問題なさそうですね！ 基本的なやり方はこれまで通りOK。ただ、効率的に感覚をつかむために、次の2点を取り入れてみてください：

- (1) 前回に引き続き、シートドイング練習はHELP 2～HELP 1の音源を使い（2）「一体化」の学習の最初の場所は、←一体化シャドーイング→と並行して←個別化リズム

Digitized by srujanika@gmail.com

⇒ 次回、特にフォーカスするとよい点

もう一息、自分が「話す英語」と「意味」を一体化しよう
「自分の英語になっている感覚」まで一体化して仕上げる上、特に着手な文については、もう一息、「自分が話す英語」と「意味」とをくっつけたいですね。一体化の最初に「一休化シヤドーイング」と並行して、「一休化リズム背誦法」をやってみてください。

さい。「書院」での一休化を入れる時、もしくはくつけていくと

■ 練習のコツ アドバイス



受講者の声

「自分の目標感や現状のタスクの達成状況などに応じて、取り組める教材のバリエーションが豊富で量が多いので、「少し余裕ができたら、教材BやCもチャレンジしよう」とか、「今仕事が忙しいから最低限教材Aをやろう」と言った形で選択的に負荷を掛けられるので良かった。また、学習ログや定期的な掲示板のメッセージなど、モチベーションを継続させるフォローもあったので、うまく時間を捻り出しながら4か月間継続することができたところは良かった。」

「このコースは瞬発力・実戦力が必要な人には必須アイテムだと思いますし、効果的な練習ができているかどうかを自己分析するのは（シャドーイングのミスの個数は数えられても）かなり難しいことだと思いました。自己分析、自己診断が甘いまま自己流の練習を積み重ねて変な癖を固定させてしまう前に極力早めにプロのチェックを受けてから練習を積み上げた方がいいと思いました。」

「1～2分のシャドーイングの録音でそんなに細かいこと*まで分かってしまう（バレてしまう）というのは本当に驚きでしたので、受講は早ければ早いほどいいのではないか。自学コースでしかできない利点を4ヶ月終えてみてとても実感でき、毎月教材が届く通信教育のワクワク感もあり、質問にもひとつひとつ丁寧に回答していただき励みになりました。」

(*注：講師からのフィードバックでの、<意味の学習>でのやり込みが不十分と思えるという指摘のこと)

「英文をいろんな視点で分析できるようになって、深く理解できるようになった。また、発音も強弱も意識できるようになりメリハリがつくようになった。リスニングも以前より楽に音が拾えるようになり、また、聞きながら意味を追うのも楽になった。」

自走できるレベルに到達できるように適切なプログラムが組まれていると思います。また毎月課題を提出→フィードバックを受けるプロセスで良いところ、改善すべきところを客観的に把握できる点が良かったです。

教材が目的に合わせABCと3つだったので、やりこみと多聴を並行してできた。

フィードバックも次へのフォーカスポイントを絞って取り組むことができたのでよかったです。

「3種の教材の組み合わせと、動画で具体的な進め方が分かり、提出日が決まっているからこそ学習サイクルを回そうと思って、提出後の的確なアドバイスや懇切丁寧なフィードバックが励みになりました」

「大変質の高い英語教材だと思います。特に動画は、何回も視聴できて、学習しながら見る度に、新しい気づきがありますね！」

「リスニング力のアップを感じる（特に、音を確実に取れるようになってきたと感じる）。また、4ヶ月実践できたので、体感として学習方法が身についた印象あり。」

「実際の自分のシャドーイング録音からフィードバックをいただけて、具体的なアドバイスをいただることの効果ははかりしれないと実感しました。書籍、公開講座ではまだピンと来てなかった「仕上がり目安」が実感として明確になったと思います。やっていると思っていて、していない部分。できていると思っていて、できていない部分。分かったと思っていて、分かっていない部分。そういうものがたくさんあったことにも気づかされました。」

スケジュール



プログラム期間： 2024年 6月 22日頃～10月末

- ・ 6月 24日期日で簡単な事前課題を提出し、学習方向性のアドバイスを受けた後、
- ・ 7月初めからサイクル1の学習スタート。1カ月間動画をガイドにして学習を進めたら、
- ・ 各月の28日に課題を提出。講師のフィードバックを参考に、次サイクルの学習を進める。
- ・ この1サイクル1カ月の学習を計4サイクル回す。

受講料

受講料 ￥88,000 (税込・送料込)

海外在住の方 : \$800.00 (国際送料込)

受講料には、以下のもの全てが含まれます：

学習サイト使用料／学習解説動画 視聴(約18時間分)／教材(合計12冊)／教材付属音源／
講師によるアドバイス(計5回 事前課題+提出課題4回)／
講師によるQ&A対応／その他補助資料

お支払いは、銀行振り込みでお願いします(海外在住の方はPaypal)。

振込先については、申込手続き後に送信される<申込受付メール>を確認してください。

申込方法・プログラム開始までの流れ

申込方法 以下のURL <申込フォーム>からお申込みください

国内在住 https://www.kh-system.training/kh_system_gsp_form_jp

海外在住 https://www.kh-system.training/kh_system_gsp_form_os

* [受付開始] : 5/10(金) ~ [締切] : 国内 6/7(金) / 海外 6/3(月)

ただし、定員になり次第、受付終了します

申込後の流れ 申込からプログラム開始までのスケジュールは以下の通りです

6月

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土

教材パッケージ到着 → 事前課題取り組み → ★事前課題提出 → 学習サイトを自由に閲覧 → 学習アドバイス返却 → サイクル1学習開始